

●鳥取市令和3年度～5年度「輝く中山間地域創出事業」福部駅駅舎に壁画イラスト作業の取り組みが紹介
されました。

鳥取市の「輝く中山間地域創出事業」補助金を活用して、福部駅のリニューアル・駅周辺の美化活動・福部駅を拠点としたイベントなどのソフト事業の取り組み事業のメインとなる駅舎の壁画作成が日本海新聞で紹介されました。

日本海新聞・令和4年10月21日（金曜日）

(27) 地域総合 2022年(令和4年)10月21日 金曜日 日本海



福部出身伊吹さん、名所や特産デザイン
駅舎新たな顔に

JR福部駅(鳥取市福部町栗谷)で20日、駅舎の塗装作業が始まった。地元住民団体による駅再整備の目玉事業で、同町出身のイラストレーター、伊吹春香さん(32)が「福部の旅」をテーマに地元の名所や特産品「多鯨ヶ池活性化委員会」を

「福部の旅」をテーマに、壁面の塗装作業を進める伊吹さん。殺風景な駅舎が生まれ変わる=20日、鳥取市福部町栗谷のJR福部駅

中心に8団体が協力。駅舎の塗装のほか、隣接する公衆トイレの生け垣の剪定や路面の修繕、来夏には駅を拠点にしたウォーキングなどを計画する。

この日は前日までに下描きを終えた壁面に、伊吹さんが壁画用の絵の具をほけで手際よく塗り進め、紫の花が広がるラッキョウ畑が姿を現した。1人の女性が福部を旅する様子を4面の壁に描き分け、11月下旬に完成予定という。

駅の乗客の多くが地元高校生で、伊吹さんも通学で毎日利用した一人。「イラストを通して、生まれ育った町の良さをPRできるのは感慨深い」とし、同委員会の飼牛明代表(74)は「利用者を増やすのは簡単ではないが、話題性のある福部駅にしてにぎわいを呼び込みたい」と話した。

(野木 紇)

日本海新聞

壁画作成は福部町出身のイラストレーター「伊吹春香さん」